



服装や保護を目的とした装具に関する規定

IHF 国際ハンドボール連盟（2017年7月発表）を基準とする
全日本大会では実施：ブロック、都道府県協会では推奨とする



1 頭部や顔への装具

2019年3月1日（公財）日本ハンドボール協会競技本部 審判委員会

品目	例	国内	国際	条件
① マスク		可	不可	IHFではマスクは使用できない 国内大会では、表情が読み取れ、柔らかい素材であれば、主催者の判断で使用を認める。
② ヘルメット		不可	不可	ヘルメットは使用できない
③ 鼻の保護		可	可	柔らかく、単色で、テープ式のもの

2 ヘアバンド

例	国内	国際	条件
	可	可	ゴムバンド式で、薄く、幅広くないもの
	不可	不可	ゴムバンド式でないもの、厚手のもの、幅広いものは使用できない ※はちまきは伸縮性でなく、結び目から垂れた部分が危害を及ぼす可能性がある。国内では、主催者が、使用に支障がないと認めれば、使用を認める。

3 めがね・ゴーグル

例	国内	国際	条件
	可	可	<p>スポーツめがねやゴーグルは、スポーツ用のバンドがあり、平らなプラスチックレンズで、フレーム上部がシリコンなど柔らかい材質であること</p>
 <p>フレームが固い材質（バンド付）</p>	主催者が規定	不可	<p>IHFではスポーツめがねやゴーグルであっても、フレーム上部が固い材質のものは使用できない。 国内では、主催者が、使用に支障がないと認めれば、使用を認める。</p>

4 マウスピース

例	国内	国際	条件
	可	可	透明であり、単色のマウスピースは使用できる
	不可	不可	不透明や、複数の色のマウスピースは使用できない

5 肩の保護やアームスリーブ

品目	例	国内	国際	条件
<p>① 肩の装具</p>		可	可	<p>肩の装具は、やわらかく、薄手の材質であれば使用できる。色は問わない。</p>
<p>② アームスリーブ</p>		可	可	<p>アームスリーブはユニフォームの大部分を占めている色と同色か、類似の色であれば使用できる。</p>

6 肘の装具

品目	例	国内	国際	条件
① 肘あて	  	可	可	薄くて柔らかい材質であれば使用できる。色は問わない。
② 肘あて (3カ所にパットがついている)		可	可	3カ所に保護のためのパットがついている肘あては使用できる。パット部分はエンボス加工されており、肘が床を滑る際に適した構造になっている。
③ ネオプレン (合成ゴム の肘あて： 1枚のパット)		可	可	広い1枚のパットを用いたネオプレンの材質の肘あては使用できる。パット部分はエンボス加工されており、肘が床を滑る際に適した構造になっている。
④ 肘の サポーター		可	可	薄くて柔らかい材質であれば使用できる。色は問わない。固い部分がすべて柔らかいもので覆われており（相手に危害を加えなければ）使用できる。
⑤ 肘の装具		不可	不可	固い部分がむき出しになっている装具は使用できない。

7 膝の装具

品目	例	国内	国際	条件
① 膝 サポーター		可	可	<p>柔らかい、薄手の材質であれば使用できる。色は問わない。</p> <p>固い部分がすべて柔らかい素材で覆われており、相手に危害を加えないと判断できれば使用できる。</p>
② 膝 サポーター (1枚の パット)		可	可	<p>広い1枚のパットで保護目的であれば使用できる。</p>
③ ネオプレン (合成ゴム の膝サポ ーター ：1枚の パット)		可	可	<p>広い1枚のパットを用いたネオプレンの材質の肘あては使用できる。</p> <p>パット部分はエンボス加工されており、膝が床を滑る際に適した構造になっている。</p>
④ 膝の装具		不可	不可	<p>固い部分がむき出しになっている装具は使用できない。</p>

8 ふくらはぎの装具

例	国内	国際	備考
	可	可	ふくらはぎへの装具は、靴下と同色であれば使用できる。
	不可	不可	靴下の色と一致しないふくらはぎへの装具は使用できない。

9 足首の装具

品目	例	国内	国際	条件
<p>① 足首の装具</p>		可	可	<p>固い部分がすべて柔らかいもので覆われており、相手に危害を加えなければ使用できる。</p> <p>国内大会では、靴下と同色でなくても使用を認める。IHFでは装具や覆うためのテープは靴下と同色とする。</p>
<p>② 足首の固定具</p>		可	可	<p>固い部分がなければ使用できる。</p> <p>国内大会では、靴下と同色でなくても使用を認める。IHFでは装具や覆うためのテープは靴下と同色とする。</p>
<p>③ 足首の装具</p>		不可	不可	<p>固い部分がむき出しになっており、靴下と色違いの装具は使用できない。</p>

10 服装

<概要>

- （ゴールキーパーを除いて）長ズボンを使用できない。
- 4カ所（短パン+膝の装具+ふくらはぎの装具+靴下）の使用は許可される。しかし、それぞれが分かれていること。
- アームスリーブはユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
- サイクリングパンツも短パンの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
- ふくらはぎの装具は、靴下と同色であること。
- 足首の装具は、靴下と同色であること。（国内では、同色でなくてもよい）
- 肘や膝の装具は色は問わない。

品目	例	国内	国際	条件
① スポーツ用 ヘッドス カーフ		可	可	単色のスポーツヘッドスカーフは使用できる。複数の選手がヘッドスカーフを使用する際は、全員が同色であること。
② スポーツ用 ではない ヘッドス カーフ		不可	不可	スポーツ用ではないヘッドスカーフは使用できない。
③ 長袖のアン ダーシャツ		可	可	ユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
		不可	不可	ユニフォームの大部分を占めている色と異なる色は使用できない。
④ サイクリン グパンツや ウォームパ ンツ		可	可	短パンの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
		不可	不可	短パンの大部分を占めている色と異なる色は使用できない。

品目	例	国内	国際	条件
⑤ 長ズボン	  	可	可	<p>ゴールキーパーは、長ズボン、長タイツ、短パン、短パンとサイクリングパンツなどを使用できる。</p>
⑥ 靴下		可	可	<p>靴下は同色で同じ長さを基本とする。</p>
⑦ 上着	 	可	可	<p>ゴールキーパーとなるコートプレイヤーはゴールキーパーと同一のものを使用する。穴を開ける場合は前後の番号の位置、透明なカバーをつけて穴を開けない場合も可能。</p> <p>国内では従来のビブスに穴を開けたものの使用を従来通り認める。</p>

11 アクセサリー

品目	例	国内	国際	条件
① イヤリング ピアス		可	可	小さいイヤリングやピアスは完全にテープで覆われていれば装着できる。
		不可	不可	完全にテープで覆われていないイヤリングやピアスは装着できない。
② ヘアピン		可	可	柔らかい素材でできているヘアピンは使用できる。金属やプラスチックのヘアピンの場合は、完全にテープで覆われていれば使用できる。
③ キャプテン マーク		可	可	単色のものであれば使用できる。
④ 短いリスト バンド		可	可	短いリストバンドは粘着性がなく、柔らかく、薄手のものであれば使用できる。
⑤ 長いリスト バンド		可	可	短いリストバンドは粘着性がなく、柔らかく、薄手のものであれば使用できる。長いリストバンドはユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。

品目	例	国内	国際	条件
⑥ 手首の装具		可	可	固い部分が覆われていれば、手首への装具は使用できる。
⑦ 手袋 グローブ		不可	不可	コート上で手袋やグローブは使用できない。ゴールキーパーも同様である。 交代地域での防寒具としての使用は認める。
⑧ フィンガー バンド		不可	不可	フィンガーバンドは使用できない。
⑨ 靴への 松ヤニ		可	可	靴に限り松ヤニをためておくことができる。そこから指へ補充する。 他の部位に松ヤニをためておくことはできない。
※ただし、会場使用上の条件によっては、靴への松ヤニを認めない場合もある。				